

平成26年度合同防災訓練(8/31@芦屋浜)に 外国人県民が参加する予定です！

来る8月31日(日)、南海トラフ巨大地震を想定した合同防災訓練が、兵庫県と阪神7市1町の主催で芦屋浜にて実施されます。

約80の関係機関が参加するこの訓練では、救援物資搬送訓練や救出・救助訓練等が実施される他、住民参加型の訓練が予定されています。

兵庫県国際交流協会では、芦屋市国際交流協会をはじめとする「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の会員団体とともに、外国人県民やその支援者にこの防災訓練に参加することを呼びかけています。

現在、兵庫県国際交流員や当協会で受け入れている研修生、当協会や芦屋市国際交流協会の日本語教室に参加している外国人、さらにはJICAで防災研修に参加している外国人等、およそ20カ国30名が参加する予定となっています。

当日は、実際の災害時を想定して、外国人参加者に対して、特に一言一句通訳することは行わず、様々な訓練の見学を通して、地震や津波に対する備えについて考えてもらうことを目的としています。

そして、訓練終了後の外国人やその支援者の感想を参考として、今後、当協会では、災害時における外国人支援のあり方について、市町国際交流協会等とともに検討を進めていく予定です。

なお、この訓練には、当協会インターンとして受け入れている関西大学社会安全学部安全マネジメント学科都市防災研究室の大学生1名も参加します。



過去の合同防災訓練の様子
(県災害対策課)



25年度の長田区真陽小学校での抜き打ち訓練
(兵庫県国際交流協会、神戸市消防局)